

2年SG国際探究の授業で、外務省特別講義（ODA出前講座）を実施しました。

外務省特別講義

平成30年11月12日（月）6・7限 時習館高校視聴覚教室

《目的》

外務省職員による講義を通じて、専門的な知識を体得し、課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの理解を深める。

《講師》

外務省国際協力局地球規模課題総括課
外交実務研修員 保科 隆之氏

《演題》「SDGs（持続可能な開発目標）について」

生徒が取り組んでいる課題研究テーマ「SDGs（持続可能な開発目標）」について、**日本政府による取組、企業・自治体などの取組**についてのお話から、国際課題とSDGsの関わりについて、**教育・女性問題**を例にお話をいただきました。生徒は講義を通じて、**SDGsが自分たちの身近な問題であること、自分たちにも貢献できることがあること**の気づきを得ました。



[生徒の感想]

普段の生活の中でSDGsのためにできることがたくさんあることがわかりました。自分の生活で今回知ったことを生かせるように学習を進めていき、実際に行動できるような人間になりたいと思いました。

今までは、SDGsに取り組むためには何か大きいことをしなければならないと思っていたが、小さなことでもSDGsに貢献できることがわかり、自分の中でのハードルが低くなりました。

SDGsを聞いて私たちにはあまり身近なものではないと考えていましたが、日本では多くの企業・団体でSDGsについて取り組みが行われていることを知りことができました。また、今日の講演のような、多くの人にSDGsを広める機会が必要だとわかりました。私も今日さっそく家で家族にSDGsについて話そうと思いました。

SDGsは難しいことだと思っていたけれど、「まずは何かをやってみる！」という意識が大切だと思いました。未来の日本や世界のためにも今から一人ひとりが意識していく必要があると思いました。目標12のつかう責任については今からでも始められると思ったので、考えていきたいと思いました。

身近な生活の中にある企業でもSDGsに関わる活動があると知ったので、調べてみたりしてその企業で消費したり支援をしたいと思った。

外務省HP（ODA出前講座）に、開催報告が掲載されています。

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/dema/page22_001071.html

